

令和 4 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	行政改革実施計画進捗管理事務	会計名称	一般会計		担当課	企画政策課	
		予算科目	2 款 1 項 2 目	事業番号	575-2	所属長名	小笠原幸男
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	曾我部雅之	
法令根拠等	第2次伊予市総合計画・伊予市行政改革大綱・伊予市行政改革実施計画				実施期間	【開始】	令和/平成 28 年度
総合計画での位置付け	参画協働推進都市の創造 効率的で透明性の高い行財政運営					【終了】	令和 4 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	行政改革の方向性や目標数値を定め、目標達成に向けた取組を進めることにより、効率的な行政運営を進める。						
事業の対象	行政改革に関する項目、職員意識、組織体制			事業の目的	簡素で効率的な行財政システムを確立するため、行政事務全般、あるいは職員意識・組織体制の不断の見直しを行い、全般的な改革を計画的に実施することにより、限られた財源と人的資源により、効率的な施策運営を展開する。		
事業の内容 (整備内容)	効率的な行政運営を目指し、他市町村の事例を参考にしながら、市民に対してより身近な市政運営となるような目標を掲げ、その目標に向かって、実行力のある計画を立て、職員と地域住民が一体となった改革に取り組む。			評価事業としないこととした理由	これまでの取組によって改善意識が組織内に一定程度浸透したという判断から、新たな方針を定めず、最終年度の報告をもって本事業を廃止することとなったため。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	4 年度予定	9月末の実績	4 年度実績
直接事業費	11	15	0	0	0	13	設定指標数	項目	108	108	108	108
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	前年度進捗状況報告	回	1	1	0	1
一般財源	11	15	0	0	0	13						
職員の人工 (にんく) 数	0.1	0.1				0.1						
1人工当たりの人件費単価	7,841	7,794				7,794						
※ 直接事業費+人件費	795	794				792						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	5年間の合計		
					0	0	0	0		0		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	平成18年度から3次にわたり策定してきた本市の行政改革大綱であるが、これまでの取組によって改善意識が組織内に一定程度浸透したという判断から、新たな方針を定めないこととなった。最終年度の報告をもって本事業は廃止となるが、総合計画の進捗管理や事務事業の評価等の既存の仕組みの中で継続的に取り組んでいく。	
一次判定	事業の方向性	<input type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input checked="" type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由 平成18年度以降、3次にわたる行政改革大綱に基づき、積極的に行政改革に取り組んできたが、数多くの方針・制度・事業等が職員の意識・行動の中に定着したことから、役割を終えたものとみなし、事業廃止と判断する。 ただ、行政改革に対する姿勢や考え方は堅持し、継続的な取組に発展させていく必要があると考える。